

## 養殖ワカメ自動間引き装置開発実証試験を行っています

現在手作業で行われている養殖ワカメの間引き作業を省力化、時間短縮することを目的として、昨年度から釜石地区で自動間引き装置の開発及び実証試験を行っています。

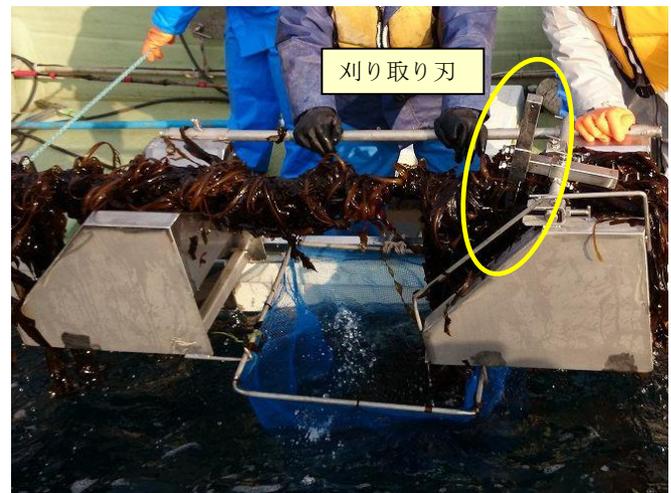
養殖ワカメの間引き作業は、最終的に生長のよいワカメを収穫するために部分的に刈り取りをするもので、毎年1月から2月にかけて行われます。

自動間引き装置は、釜石市の石村工業株式会社で設計、製作したもので、これまで生産者等の意見を取り入れながら、随時改良が加えられてきました。

今年度も、ワカメ間引きシーズン（1～2月）の期間中に、より安全に効率よく間引き作業をするための装置の開発及び実証試験を行っていきます。



小型漁船に装着した、現在開発中のワカメ自動間引き装置  
(後部の刃物でワカメを部分的に刈り取る)



実証試験の実施（平成26年1月）